



2017年3月23日

各位

3年連続「なでしこ銘柄」に選定 ーダイバーシティ&インクルージョンへの積極的な取り組みが 外部機関から継続評価ー

[中外製薬株式会社](#)（本社：東京、代表取締役会長 CEO：永山 治）は、女性活躍推進に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所（以下、東証）より平成28年度「なでしこ銘柄」に3年連続で選定されましたのでお知らせいたします。

「なでしこ銘柄」は、経済産業省と東証が平成24年度より毎年、「女性活躍推進」に優れた上場企業を「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを目的に、合同で選定・発表しているものです。「女性のキャリア促進」と「仕事と家庭の両立サポート」の二つの側面からスコアリングを行い、各業種上位企業の中から財務指標要件〔ROE（株主資本利益率）直近3年間平均が8%以上、あるいは業種中央値以上〕を踏まえ、原則、業種ごとに1社が選定されます。

「なでしこ銘柄」ロゴマーク



中外製薬は、「国内外において革新的な新薬を継続的に提供する日本のトップ製薬企業」を目指し、多様な人材がいきいきと働き、新しい価値を生み出すための「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」を経営の重要課題と位置づけて取り組んでいます。今回の「なでしこ銘柄」への3年連続の選定は、当社のこれまでの取り組みが継続的に評価されたものと考えています。

中外製薬は、人財こそが企業の成長・発展を生み出すかけがえのない資産であるという基本理念のもと、今後もすべての従業員がいきいきと活躍できる職場環境・組織風土の整備に取り組んでまいります。

参考資料)

【これまでの主な取り組み内容】

2010年：経営トップ直轄のもとにジェンダーについてのワーキングチームを結成、検討を開始

2012年：活動を幅広い領域で強化・推進するため、「ダイバーシティ推進室」を設置

2013年：経営役員と各部門の推進メンバーが一堂に集まる「中外ダイバーシティ推進フォーラム」を開催（2013年以降、毎年開催）

【女性のキャリア促進について】

2018年の目標として、管理職に占める女性比率を13%と設定し、これまで、上級リーダー育成に向けた女性リーダープログラムの導入のほか、昨年は、管理職層の拡充に向けた育成プログラムを新設しました。2016年12月末時点での女性管理職比率は11.3%となり、今後も継続的に管理職候補を育成し、次世代の女性リーダー層の拡充を図っていきます。

【仕事と家庭の両立サポートについて】

2013年にワークライフバランスの考え方を「ワークライフシナジーの追求」として取りまとめ、従業員の理解浸透に取り組んでいます。これは、個人および職場での働き方や生活の仕方を創意工夫し、相乗効果を追求することにより、一人ひとりの可能性を拡大し、組織の生産性向上に寄与するというもので、会社と従業員個々人がWIN-WINの関係になることを目指しています。施策としては、出産や育児、介護などにかかわらず、あらゆる従業員が自律的に個々人のワークスタイル・ライフスタイルを実現することを目的に就業環境の整備などに取り組んでいます。

以上